

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	その時の気分で一日の行動が左右される方が多数で、入浴時の同姓介助、異性介助については入浴時のその時点で、口頭にて確認をしながら入浴して頂いていた。きちんとした形で確認表が必要である。	「人格の尊重」と「プライバシーの確保」を更にすすめ、確実なものとしていく為に、再確認し、文書化していく。	現在、その日に入浴予定の利用者様、入浴担当職員を記載する一覧表を作成し、活用しているが、再度入浴前に、利用者様へ入浴担当者を紹介し、了承して頂いた上で介助を行い、了承の旨を細かく一覧表に記載しておく。	目標達成計画作成後、すぐ
2	52	童謡「ふるさと」をホームの歌として様々な機会ですみ、披露していたが、平成25年4月1日開設の「慈愛Ⅱ」には、「ふるさと」の歌詞を掲示していなかった。	「ふるさと」の歌詞を、「慈愛Ⅰ」と同様に掲示し、更に愛着のある、馴染み深いものとしていく。	慈愛Ⅰに掲げてある「ふるさと」の歌詞に携わって頂いた家族様に再び、協力を求め、家族様、職員が連携をとり、完成後掲示する。	1ヶ月
3	2	認知症カフェへの取り組みを行い、更に地域の中のホームとして展開を図っていく。	ホームを開放する事で、地域の方々に気軽に立ち寄って頂き、ホッとする時間、会話が持てる時間を共有し、安全で、落ち着ける場所として、出来る範囲内でホームを提供していく。	近くで開催される認知症カフェの研修に参加し、意義の把握、必要性の是非を見極めながら始め、スタッフ全員の意識の統一を図りながら、ホームの特性を活かした場を提供し、徐々に地域への輪を広げていく。	半年
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。